

平成 30 年 4 月 5 日  
日本原子力発電（株）

炉内構造物のうち，炉心シュラウド及び上部格子板の点検計画

炉内構造物供用期間中検査10年計画(第4次検査間隔)

注-1 検査方法 { VT-1, 2, 3: 目視試験 (目視検査)  
 PT: 浸透探傷試験 (表面検査)  
 UT: 超音波探傷試験 (体積検査)

注-2 接近性 { A: 構造上ならびに放射線レベル上から接近不可能  
 B: 検査方法の開発、十分な予備調査が必要  
 C: 現状で検査可能

第24回定期検査からJSME S NAI-2008を適用

検査のカテゴリ	検査箇所	設備数	検査		接近性	検査実績				検査予定				備考	
			方法	程度(10年)		要求量(10年)	第24回	第25回(2011年度)	第25回(2015年度)	第26回	第27回	第28回	第29回		第30回
G-B-2 炉心支持構造物	(1) シェラウドサポート	1式	VT-3	周方向: 7.5% 高さ方向: 全高	周方向: 7.5% 高さ方向: 全高	C			1					試験範囲は検査程度の内、接近可能な表面	
	(2) シェラウド	1式	VT-3	周方向: 7.5% 高さ方向: 全高	周方向: 7.5% 高さ方向: 全高	C			1					試験範囲は検査程度の内、接近可能な表面	
	(3) 上部格子板	1式	VT-3	周方向: 7.5% 高さ方向: 全高	周方向: 7.5% 高さ方向: 全高	C			1					試験範囲は検査程度の内、接近可能な表面	
	(4) 炉心支持板	1式	VT-3	周方向: 7.5% 高さ方向: 全高	周方向: 7.5% 高さ方向: 全高	C			1					試験範囲は検査程度の内、接近可能な表面	
	(5) アクセスホールカバー	2箇所	VT-3	1箇所	1箇所	C			1					試験範囲は任意の1箇所の近接可能な表面	
	(6) 制御棒駆動ハウジング	186箇所	VT-3	1箇所	1箇所	C			1					試験範囲は任意の1箇所の近接可能な表面	
	(7) インコアモニタハウジング	55箇所	VT-3	1箇所	1箇所	C			1					試験範囲は任意の1箇所の近接可能な表面	
IJG-B-1 シェラウドサポート	(8) 燃料支持金具	中央燃料支持金具: 185箇所 周辺燃料支持金具: 24箇所	VT-3	各1箇所	各1箇所	C			各1					試験範囲は任意の1箇所の近接可能な表面	
	(9) 制御棒案内管	186箇所	VT-3	1箇所	1箇所	C			1					試験範囲は任意の1箇所の近接可能な表面	
	(1) 周方向溶接継手	1式	MVT-1	1式 (運転時間で5~15年)	1式 (運転時間で5~15年)	C								第2回定期検査から運転時間で15年以内に実施	
IJG-B-2 シェラウド	(1) 周方向溶接継手 (シェラウドサポートトリングなし)	1式	MVT-1	1式 (運転時間で5~15年) H7内面は4定検以内 H4内面は4定検以内	1式 (運転時間で5~15年) H7内面は4定検以内 H4内面は4定検以内	C			H1外面 H2外面 H3外面 H4外面	H7内面 H4内面		H7内面		H1, 2, 6a内面およびH7外面は構造上接近不可能	
	上部格子板	32箇所	UT	隔回	隔回	C			H6b内面 H7内面	H7		H7		試験範囲はMVT-1の欠陥指示検出範囲を含む任意	
IJG-B-3 上部格子板	(1) レストトレイント構造	32箇所	VT-3	10箇所 (運転時間で5~15年)	10箇所 (運転時間で5~15年)	C			10					第2回定期検査から運転時間で15年以内に実施	

